

市内経営動向調査 平成27年7月～9月期 (第2四半期)

- ① 調査の時期 平成27年10月 ② 調査の期間 平成27年7月～9月
③ 調査対象企業 280社 ④ 回収状況 143社 (回答率51.1%)
⑤ 調査内容 建設業、製造業、卸・小売業、サービス業を営む企業に対して、佐世保の景況感、業界の景況感、前年同期比売上動向 (H26.7月～9月)、前年同期比採算動向 (H26.7月～9月) を調査

※DI=ディフュージョン・インデックスとは《「増加・好転の割合」－「減少・悪化の割合」》

【総括】

○全業種

全業種では、全ての調査項目においてDI値の改善がみられた。全体的には消費増税以降一旦回復に転じたものの、前回まで足踏み状態が続いていた。しかし、これまで業界毎に大きな差が見られた数値も均衡が見られる等、緩やかに回復基調が窺える。ただし、DI値に一進一退の動きが見られるため、先行きは不透明で引き続き今後の動向が注視される。経営上の問題としては、依然として人材不足や原材料費・労務費等の高騰、年間を通しての受注の不安定を問題視する声に加え、今後の消費増税の影響を懸念する声も寄せられた。

○佐世保市内の景況感

DI値は、製造業を除く、建設業、卸・小売業、サービス業において改善した。建設業では▲26.2 (前回比+11.0%)、サービス業では▲21.2 (前回比+5.4%)と改善に転じ、消費増税前の数値に近づきつつある。一方、4期連続で改善傾向にあった製造業では▲32.1 (前回比-6.3%)と業界の景況感に比例して悪化に転じた。

○市内業界の景況感

DI値は、建設業、卸・小売業において改善したものの、製造業、サービス業において悪化した。全業種の中では低い数値が続いていた卸・小売業では▲30.8 (前回比+6.7%)と改善し、2期連続の改善となった。一方、4期連続で改善傾向にあった製造業は、『悪い』『大変悪い』と回答した企業が13.5%増加し、▲32.2 (前回比-19.3%)と大きく悪化に転じた。全業種では緩やかに回復基調が窺えるものの、DI値に一進一退の動きが見られ、今後の動向が注視される。

○前年同期比の売上動向

DI値は、建設業、サービス業において改善したものの、製造業、卸・小売業において悪化した。前々回まで全業種の中でも好調を維持していたサービス業は、前回は大きく悪化に転じたものの、今回は3.0 (前回比+9.8%)と消費増税前の数値まで改善に転じた。同様に前回大きく悪化に転じた建設業も、2.4 (前回比+37.1%)と大きく改善に転じた。これまで業界毎に大きな差が見られた数値も均衡。全体的に改善の要因として、前回に続き地域振興券の効果という声に加え、円安による輸出競争力の向上や市内テーマパークの好調といった声が寄せられた。

○前年同期比の採算動向

DI値は、全ての業種において改善した。全業種のDI値は0となり、平成12年の調査開始以来、最も高い数値となった。要因として、売上動向に回復基調が見られる他、販売単価の上昇や経費圧縮の効果といった声が寄せられた。一方で、依然として労務費の上昇や原材料費の高騰を問題視する声が寄せられた。

①佐世保の景況感について				②市内業界の景況感				③昨年同期比の売上の動向は？				④昨年同期比の採算動向は？			
全業種 DI値 ▲ 29.4				全業種 DI値 ▲ 24.8				全業種 DI値 ▲ 2.1				全業種 DI値 0.0			
1.大変良い	1	0.70%	0.7	1.大変良い	1	0.71%	0.7	1.増加	4	2.80%	2.8	1.好転	2	1.43%	1.4
2.良い	8	5.59%	5.6	2.良い	12	8.51%	8.5	2.やや増加	28	19.58%	19.6	2.やや好転	30	21.43%	21.4
3.普通	83	58.04%	58.0	3.普通	80	56.74%	56.8	3.変わらない	76	53.15%	53.1	3.変わらない	76	54.29%	54.4
4.悪い	50	34.97%	35.0	4.悪い	45	31.91%	31.9	4.やや減少	24	16.78%	16.8	4.やや悪化	24	17.14%	17.1
5.大変悪い	1	0.70%	0.7	5.大変悪い	3	2.13%	2.1	5.減少	11	7.69%	7.7	5.悪化	8	5.71%	5.7
建設業 DI値 ▲ 26.2				建設業 DI値 ▲ 16.7				建設業 DI値 2.4				建設業 DI値 ▲ 5.0			
1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.増加	0	0.00%	0.0	1.好転	0	0.00%	0.0
2.良い	3	7.14%	7.1	2.良い	3	7.14%	7.1	2.やや増加	8	19.05%	19.1	2.やや好転	6	15.00%	15.0
3.普通	25	59.52%	59.6	3.普通	29	69.05%	69.1	3.変わらない	27	64.29%	64.2	3.変わらない	26	65.00%	65.0
4.悪い	14	33.33%	33.3	4.悪い	10	23.81%	23.8	4.やや減少	6	14.29%	14.3	4.やや悪化	6	15.00%	15.0
5.大変悪い	0	0.00%	0.0	5.大変悪い	0	0.00%	0.0	5.減少	1	2.38%	2.4	5.悪化	2	5.00%	5.0
製造業 DI値 ▲ 32.1				製造業 DI値 ▲ 32.2				製造業 DI値 3.6				製造業 DI値 7.1			
1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.増加	2	7.14%	7.1	1.好転	0	0.00%	0.0
2.良い	1	3.57%	3.6	2.良い	2	7.14%	7.1	2.やや増加	7	25.00%	25.0	2.やや好転	9	32.14%	32.1
3.普通	17	60.71%	60.7	3.普通	15	53.57%	53.6	3.変わらない	11	39.29%	39.4	3.変わらない	12	42.86%	42.9
4.悪い	10	35.71%	35.7	4.悪い	10	35.71%	35.7	4.やや減少	6	21.43%	21.4	4.やや悪化	6	21.43%	21.4
5.大変悪い	0	0.00%	0.0	5.大変悪い	1	3.57%	3.6	5.減少	2	7.14%	7.1	5.悪化	1	3.57%	3.6
卸・小売業 DI値 ▲ 37.5				卸・小売業 DI値 ▲ 30.8				卸・小売業 DI値 ▲ 15.0				卸・小売業 DI値 ▲ 7.5			
1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.増加	1	2.50%	2.5	1.好転	1	2.50%	2.5
2.良い	1	2.50%	2.5	2.良い	2	5.13%	5.1	2.やや増加	4	10.00%	10.0	2.やや好転	4	10.00%	10.0
3.普通	23	57.50%	57.5	3.普通	23	58.97%	59.0	3.変わらない	24	60.00%	60.0	3.変わらない	27	67.50%	67.5
4.悪い	15	37.50%	37.5	4.悪い	12	30.77%	30.8	4.やや減少	7	17.50%	17.5	4.やや悪化	6	15.00%	15.0
5.大変悪い	1	2.50%	2.5	5.大変悪い	2	5.13%	5.1	5.減少	4	10.00%	10.0	5.悪化	2	5.00%	5.0
サービス業 DI値 ▲ 21.2				サービス業 DI値 ▲ 21.9				サービス業 DI値 3.0				サービス業 DI値 9.3			
1.大変良い	1	3.03%	3.0	1.大変良い	1	3.13%	3.1	1.増加	1	3.03%	3.0	1.好転	1	3.13%	3.1
2.良い	3	9.09%	9.1	2.良い	5	15.63%	15.6	2.やや増加	9	27.27%	27.3	2.やや好転	11	34.38%	34.4
3.普通	18	54.55%	54.6	3.普通	13	40.63%	40.7	3.変わらない	14	42.42%	42.4	3.変わらない	11	34.38%	34.3
4.悪い	11	33.33%	33.3	4.悪い	13	40.63%	40.6	4.やや減少	5	15.15%	15.2	4.やや悪化	6	18.75%	18.8
5.大変悪い	0	0.00%	0.0	5.大変悪い	0	0.00%	0.0	5.減少	4	12.12%	12.1	5.悪化	3	9.38%	9.4

市内経営動向調査 平成27年度第2四半期（平成27年7月～9月）DI景況感 ※DI値は平成27年第1四半期（平成27年4月～6月）と比較

	佐世保の景況感	業界の景況感	前年同期比売上げ動向	前年同期比採算動向
全業種	DI ▲33.2 ⇒ ▲29.4 ↗  ⇒  ↑	DI ▲26.3 ⇒ ▲24.8 ↗  ⇒  ↑	DI ▲11.1 ⇒ ▲2.1 ↗  ⇒  ↑	DI ▲19.2 ⇒ 0.0 ↗  ⇒  ↑
建設業	DI ▲37.2 ⇒ ▲26.2 ↗  ⇒  ↑	DI ▲35.3 ⇒ ▲16.7 ↗  ⇒  ↑	DI ▲34.7 ⇒ 2.4 ↗  ⇒  ↑	DI ▲32.6 ⇒ ▲5.0 ↗  ⇒  ↑
製造業	DI ▲25.8 ⇒ ▲32.1 ↗  ⇒  ↓	DI ▲12.9 ⇒ ▲32.2 ↗  ⇒  ↓	DI 12.9 ⇒ 3.6 ↗  ⇒  ↓	DI 3.4 ⇒ 7.1 ↗  ⇒  ↑
卸・小売業	DI ▲38.5 ⇒ ▲37.5 ↗  ⇒  ↑	DI ▲37.5 ⇒ ▲30.8 ↗  ⇒  ↑	DI ▲2.5 ⇒ ▲15.0 ↗  ⇒  ↓	DI ▲20.0 ⇒ ▲7.5 ↗  ⇒  ↑
サービス業	DI ▲26.6 ⇒ ▲21.2 ↗  ⇒  ↑	DI ▲9.9 ⇒ ▲21.9 ↗  ⇒  ↓	DI ▲6.8 ⇒ 3.0 ↗  ⇒  ↑	DI ▲16.7 ⇒ 9.3 ↗  ⇒  ↑



DI100～81



DI80～41



DI40～11



DI10～▲10



DI▲11～▲40

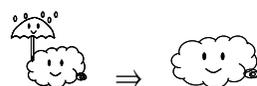


DI▲41～▲80



DI▲81～▲100

DI ▲30.0⇒▲10.0 ↗ (平成21年度第1四半期～平成27年度第2四半期の傾向)



↑ (平成27年度第1四半期と平成27年度第2四半期との比較)

【概 況】

(全業種) ※ () 内は前回調査値

① 市内の景況感について

「大変良い」0.7% (0%)、「良い」5.6% (4.6%)、「普通」58.0% (57.6%)、「悪い」35.0% (35.1%)、「大変悪い」0.7% (2.7%) となり、DIは▲29.4 (▲33.2) と3.8ポイント改善した。業種別DIでは、建設業、卸・小売業、サービス業でプラスに作用し、製造業ではマイナスに作用した。

② 市内における業界の景気動向について

「大変良い」0.7% (0%)、「良い」8.5% (8.6%)、「普通」56.8% (56.5%)、「悪い」31.9% (31.6%)、「大変悪い」2.1% (3.3%) となり、DIは▲24.8 (▲26.3) と1.5ポイント改善した。業種別DIでは、建設業、卸・小売業でプラスに作用し、製造業、サービス業ではマイナスに作用した。

③ 前年同期（平成26年7月～9月）比の売上動向について

「増加」2.8% (1.3%)、「やや増加」19.6% (22.2%)、「変わらない」53.1% (41.9%)、「やや減少」16.8% (19.6%)、「減少」7.7% (15.0%) となり、DIは▲2.1 (▲11.1) と9.0ポイント改善した。業種別DIでは、建設業、サービス業でプラスに作用し、製造業、卸・小売業ではマイナスに作用した。

④ 前年同期（平成26年7月～9月）比の採算動向について

「好転」1.4% (0%)、「やや好転」21.4% (13.9%)、「変わらない」54.4% (53.0%)、「やや悪化」17.1% (24.5%)、「悪化」5.7% (8.6%) となり、DIは0 (▲19.2) と19.2ポイント改善した。業種別DIでは、建設業、製造業、卸・小売業、サービス業でプラスに作用した。

《業種別概況》 ※ () 内は前回調査値

(建設業) 回答：78社中42社、回答率53.8%

○市内の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」7.1% (2.0%)、「普通」59.6% (58.8%)、「悪い」33.3% (35.3%)、「大変悪い」0% (3.9%) となり、DIは▲26.2 (▲37.2) と11.0ポイント改善した。

○市内業界の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」7.1% (2.0%)、「普通」69.1% (60.7%)、「悪い」23.8% (35.3%)、「大変悪い」0% (2.0%) となり、DIは▲16.7 (▲35.3) と18.6ポイント改善した。

○前年同期比の売上げは、「増加」0% (0%)、「やや増加」19.1% (9.6%)、「変わらない」64.2% (46.1%)、「やや減少」14.3% (21.2%)、「減少」2.4% (23.1%) となり、DIは2.4 (▲34.7) と37.1ポイント改善した。

○前年同期比の採算動向は「好転」0% (0%)、「やや好転」15.0% (3.9%)、「変わらない」65.0% (59.6%)、「やや悪化」15.0% (25.0%)、「悪化」5.0% (11.5%) となり、DIは▲5.0 (▲32.6) と27.6ポイント改善した。

《主な自由意見》

○昨年同期の売上動向

好転要因では、公共工事の受注増加、進捗率の向上などの回答があった。

悪化要因では、公共工事の受注減少、工事発注の遅れなどの回答があった。

○昨年同期の採算動向

好転要因では、経費圧縮、大型工事の受注などの回答があった。

悪化要因では、受注の減少や受注金額の低下、外注費（下請け単価）の値上げ、天候不順による工期の遅れなどの回答があった。

○経営上の問題

技術者などの人材不足や後継者問題、今後の公共工事を含む受注確保を問題視する声が寄せられた。

(製造業) 回答：64社中28社、回答率43.8%

○市内の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」3.6% (0%)、「普通」60.7% (74.2%)、「悪い」35.7% (22.6%)、「大変悪い」0% (3.2%) となり、DIは▲32.1 (▲25.8) と6.3ポイント悪化した。

○市内業界の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」7.1% (12.9%)、「普通」53.6% (61.3%)、「悪い」35.7% (22.6%)、「大変悪い」3.6% (3.2%) となり、DIは▲32.2 (▲12.9) と19.3ポイント悪化した。

○前年同期比の売上げは、「増加」7.1% (3.2%)、「やや増加」25.0% (32.3%)、「変わらない」39.4% (41.9%)、「やや減少」21.4% (16.1%)、「減少」7.1% (6.5%) となり、DIは3.6 (12.9) と9.3ポイント悪化した。

○前年同期比の採算動向は「好転」0% (0%)、「やや好転」32.1% (24.1%)、「変わらない」42.9% (55.2%)、「やや悪化」21.4% (13.8%)、「悪化」3.6% (6.9%) となり、DIは7.1 (3.4) と3.7ポイント改善した。

《主な自由意見》

○昨年同期の売上動向

好転要因では、受注の増加や新規取引先の増加、円安による輸出競争力の向上などの回答があった。

悪化要因では、商品値上げによる需要の低下、受注の減少などの回答があった。

○昨年同期の採算動向

好転要因では、経費圧縮や出荷量の増加、製品単価の上昇などの回答があった。

悪化要因では、売上減少や製品単価の低下、原材料費・光熱費・人件費等の増加などの回答があった。

○経営上の問題

人材不足（求人応募がない）や年間を通じて受注が不安定であることを問題視する声が寄せられた。

(卸・小売業) 回答73社中40社、回答率54.8%

○市内の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」2.5% (7.7%)、「普通」57.5% (46.1%)、「悪い」37.5% (46.2%)、「大変悪い」2.5% (0%) となり、DIは▲37.5 (▲38.5) と1.0ポイント改善した。

○市内業界の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」5.1% (7.5%)、「普通」59.0% (47.5%)、「悪い」30.8% (40.0%)、「大変悪い」5.1% (5.0%) となり、DIは▲30.8 (▲37.5) と6.7ポイント改善した。

○前年同期比の売上げは、「増加」2.5% (0%)、「やや増加」10.0% (30.0%)、「変わらない」60.0% (37.5%)、「やや減少」17.5% (22.5%)、「減少」10.0% (10.0%) となり、DIは▲15.0 (▲2.5) と12.5ポイント悪化した。

○前年同期比の採算動向は「好転」2.5% (0%)、「やや好転」10.0% (12.5%)、「変わらない」67.5% (55.0%)、「やや悪化」15.0% (27.5%)、「悪化」5.0% (5.0%) となり、DIは▲7.5 (▲20.0) と12.5ポイント改善した。

《主な自由意見》

○昨年同期の売上

好転要因では、商品単価の増加や地域振興券、設備投資の効果などの回答があった。
悪化要因では、商品単価の減少や天候不順による来店客の減少などの回答があった。

○昨年同期の採算動向

好転要因では、売上増加や粗利益率・経費の見直しなどの回答があった。
悪化要因では、売上減少や仕入価格の高騰などの回答があった。

○経営上の問題

人材不足や人材育成、今後の消費増税による先行き、ネット販売の拡大による自社への影響などを問題視する声が寄せられた。

(サービス業) 回答65社中33社、回答率50.8%

○市内の景況感については、「大変良い」3.0% (0%)、「良い」9.1% (10.0%)、「普通」54.6% (53.4%)、「悪い」33.3% (33.3%)、「大変悪い」0% (3.3%) となり、D Iは▲21.2 (▲26.6) と5.4ポイント改善した。

○市内業界の景況感については、「大変良い」3.1% (0%)、「良い」15.6% (16.7%)、「普通」40.7% (56.7%)、「悪い」40.6% (23.3%)、「大変悪い」0% (3.3%) となり、D Iは▲21.9 (▲9.9) と12.0ポイント悪化した。

○前年同期比の売上げは、「増加」3.0% (3.3%)、「やや増加」27.3% (23.3%)、「変わらない」42.4% (40.0%)、「やや減少」15.2% (16.7%)、「減少」12.1% (16.7%) となり、D Iは3.0 (▲6.8) と9.8ポイント改善した。

○前年同期比の採算動向は「好転」3.1% (0%)、「やや好転」34.4% (23.3%)、「変わらない」34.3% (36.7%)、「やや悪化」18.8% (30.0%)、「悪化」9.4% (10.0%) となり、D Iは9.3 (▲16.7) と26.0ポイント改善した。

《主な自由意見》

○昨年同期の売上

好転要因では、受注単価の上昇や受注量の増加、市内テーマパークの好調などの回答があった。

悪化要因では、受注金額の低下や競争激化、婚礼会場の統廃合の影響などの回答があった。

○昨年同期の採算動向

好転要因では、燃料費の低下や受注単価の上昇、利用客の増加などの回答があった。

悪化要因では、売上減少や保全・修繕費の増加、利用客の減少などの回答があった。

○経営上の問題

人手不足や従業員の高齢化、水道光熱費・食材の高騰、設備の老朽化などを問題視する声が寄せられた。

以上

平成 27 年度第 2 四半期 経営動向調査表

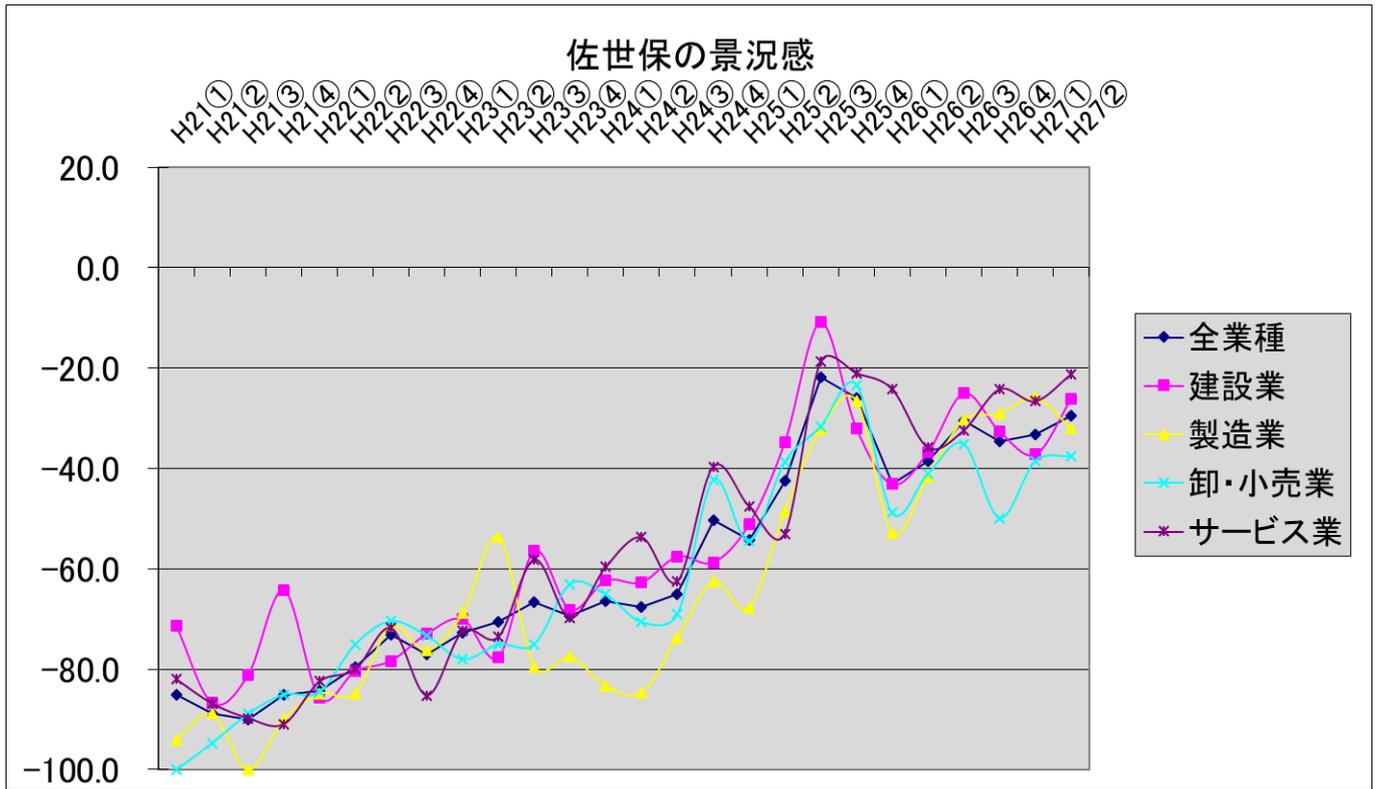
図表 1 - 1 【前年同期比売上動向DI値の推移（平成元年～）】



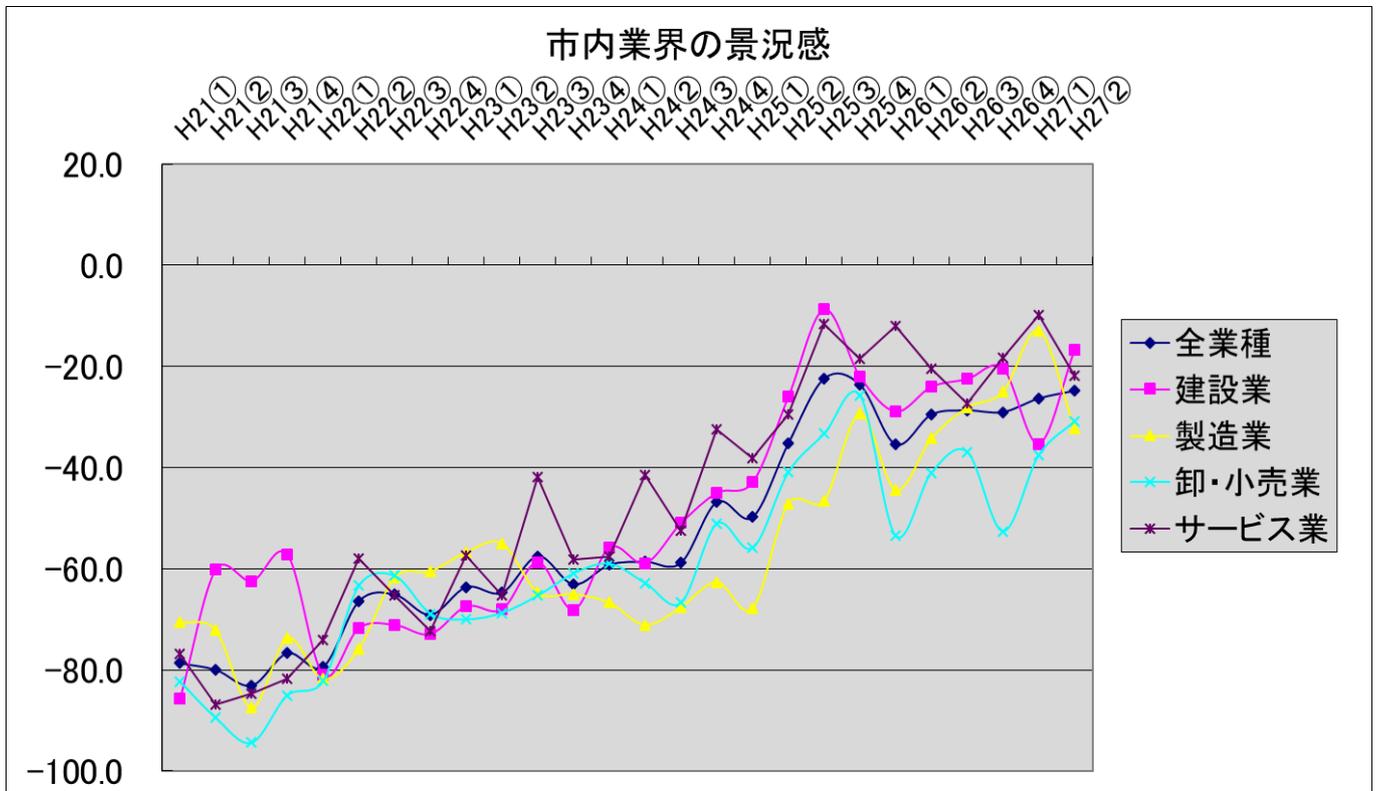
図表 1 - 2 【全業種DI値の推移（平成 21 年～）】



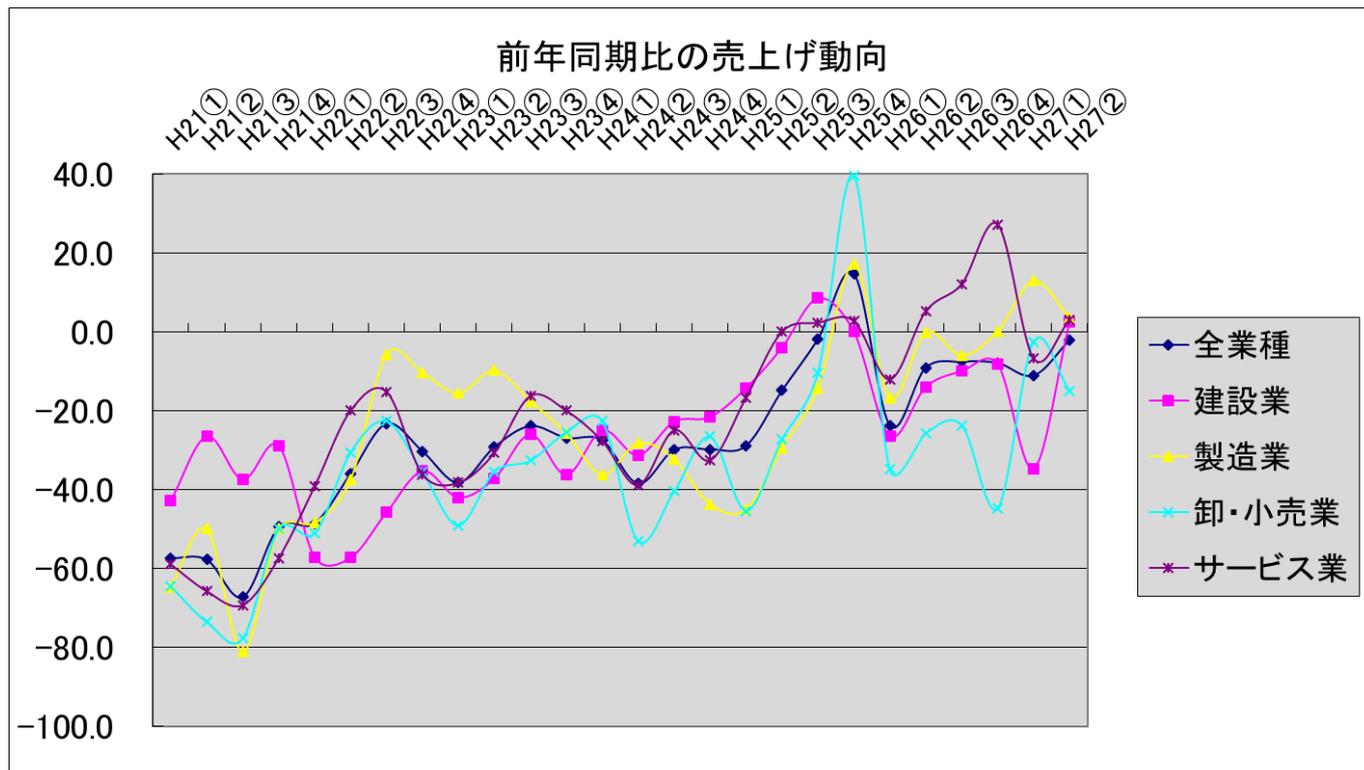
図表 1-3 【佐世保の景況感の推移（平成 21 年～）】



図表 1-4 【市内業界の景況感の推移（平成 21 年～）】



図表 1 - 5 【昨年同期比の売上動向の推移（平成 21 年～）】



図表 1 - 6 【昨年同期比の採算動向の推移（平成 21 年～）】

